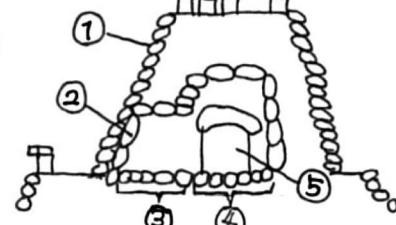


＜日本史探究⑯＞ 古墳時代③ 教科書：P.28～P.32

8 後期の古墳

	6c(後期)	7c(終末期)
形状	(1.) 小型古墳が多数集まる →有力農民層の墓	・前方後円墳の造営終わる →一部の豪族層による方墳・円墳の造営は続く(100年ほど)
分布	(2.) 石室の壁面に絵 ↑九州各地や茨城・福島県など 近畿以外で大型前方後円墳が収束へ	・(3.) 墳丘の平面がV字形 →被葬者は天皇・皇子など大王のみ
代表的な古墳	1の代表的なもの (4.) 古墳群(和歌山県) (5.) 古墳群(奈良県) 2の代表的なもの (6.) 古墳(福岡県)	りゅうかくじいわや 龍角寺岩屋古墳(千葉県) モバくまづか 牛生塚古墳(栃木県)  (7.) 穴を掘って墓室を作る ↓ 吉見古穴(埼玉県)が有名 (6～7cに各地に広がる)
石室	(8.) 石室が一般化→(9.) が可能に! ①(10.) ②(11.) ③(12.) ④(13.) ⑤蒙形石棺 ・家族墓としての性格を帶びていた	
副葬品	(14.)などの日用品(←「自らの権力を誇示するもの」から「家族全体のための墓」)	
埴輪	・(15.)埴輪の大量増加→古墳の周りや墳丘上に並べ葬送儀礼を表現 ・福岡県の(16.)古墳には埴輪の代わりと考えられる(17.)が立て並べられている。	

問(1) 後期の古墳には、遺体を収める(A)と外界とを(B)でつなぐ(C)石室が見られる。
 A: () B: () C: ()

問(2) 古墳時代後期には、(D)とよばれる小古墳が多数造られた。()

9 古墳時代の住居→豪族と民衆の分離が明確に!

- ①豪族: 集落から離れた場所に濠や柵列をめぐらす(18.)を造営&倉庫群
- ②民衆: 複数の(19.)と平地住居(20.)などで構成
＊19の壁にこれまでの炉に代わって(21.)を設置 ⇔「環濠」ナシ!

⑩ 古墳時代の生活・風習

① 土器：前期から中期の初めまでは弥生土器の系譜をひく(22.)色の土器である

(23.)が用いられたが、5cには朝鮮半島から硬質で(24.)色の

(25.)の製作技術が伝えられた。



② 衣服：男性→衣と乗馬ズボン風の袴，女性→衣とスカート風の裳

③ 農耕祭祀：春には豊作を祈る(26.)が、

秋には収穫を感謝する(27.)が行われた！

④ 祭祀の対象：円錐形の整った形の山・高い樹木・絶海の孤島などを神のやどる所とした

(例)(28.)を神体とする奈良県の(29.)←本殿がない

「海の正倉院」ともよばれる(30.)を祀る福岡県の(31.)の

おおくにぬいのがみ
大国主神を祀った島根県の(33.)

大王家の祖先神である(34.)を祀る三重県の(35.)

⑤ 呪術的風習

・ 鹿の骨を焼き、そのひび割れの形で占う(36.)の法

・ 熱湯に手を入れて、火傷の有無で真偽を確かめる(37.)

・ 穢れ[死や血など不吉で汚いモノ]を、川や海に入り水によって心身をすすぎ洗い清める

(38.)や神具や唱え言葉で清める(39.)でのぞくなどの風習があった。

問(1) 古墳時代に作られた、弥生土器の系譜をひく赤褐色の土器は？()

問(2) 5c頃に、朝鮮から伝えられた灰色の硬質陶器は？()

問(3) 鹿の骨を焼いて吉凶を占うのは？()

問(4) 热湯に手を入れさせて真偽を判断することは？()

II 倭王武の上表文 [ヨロ:しなやか武は上表し!] 下から上にものを言うこと
(40.)年 倭王武[=41.]は宋の順帝に上表した。

→ 武は宋の順帝から「(42.)国諸軍事(43.)」の称号を得た。

↑ 武は「七国・倭王」を自称したが、(44.)が除かれたため、42となつた！

與死して弟(45.)立つ。自ら…七国諸軍事(46.)倭王と称す。順帝の
昇明二年、使を遣して上表して曰く…東は(47.)を征する…西は(48.)を服む。